

かなざきひさの町政報告

(金崎ひさ)

H 15. 7. 19

カット 三留正子 第 23 号

かなざきひさを応援する会・会報 23 号 発行責任者 伏見 小枝

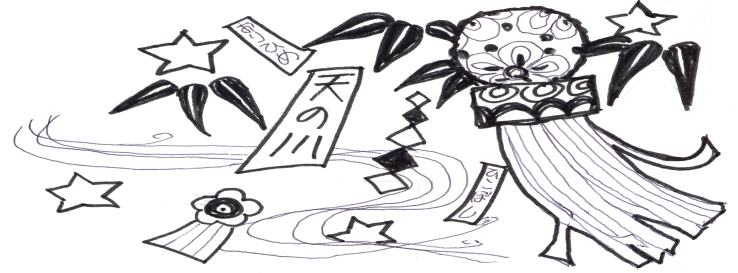
葉山町議会第 2 回定例会が開催されました。(期日 平成 15 年 6 月 10 日～20 日)

改選後初めての定例会で、14 人の議員が一般質問をする活発な議会となりました。

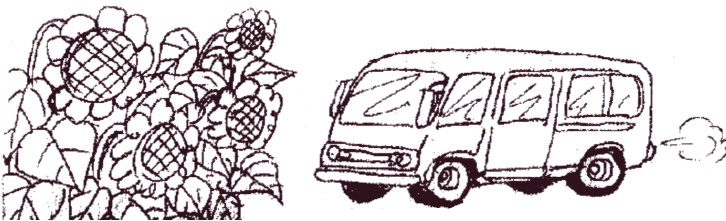
○かなざきひさの一般質問

(1) 町道工事に伴う美しい町道復元について

町内の各所で、下水道工事等が行われていますが、その道路復元の方法について伺いました。



質問と提案	理事者側の答弁
工事に際して、説明会はあるのか。	近隣の方々に工事の説明はおこなう。(町長)
その際、復元に対する意見や要望を伺ったらどうか。	町道であれば整備できるが、町の事業費では町道と民有地の影響範囲内を復元するのが原則。(町長)
町民参画で町道を美しく復元する、という意識を持って欲しい。	ガス等の道路占有者や開発行為による工事の復元については、地域の意見を聞き民有地も含めた安全で美しい道路整備を指導している。(町長)
拡幅の為に提供された私有地の対応は。	1.境界がはつきりしている。2.抵当権等が設定されていない。3.道路として整備されている。これらの3つの条件がそろっていれば、寄付を受け付ける。(都市経済部長)
かなざきひさの考え 道路工事をするのであれば、掘り起こしたついでに電線を埋設するなど、工事前よりも美しい道をつくらうという思いを持って対応して欲しいと思います。	



(2) 交通システムの改良について

12 年度～14 年度までのコミュニティバス調査研究事業で、アンケート調査や職員による視察などが行われました。

質問と提案	理事者側の答弁
14 年度までの調査研究の結果は。	町内の交通不便地解消の為に、既存バスの路線変更が効率的であると思う。(町長)
交通不便地とは。	長柄大山地区と水源地から葉山公園に抜ける地域 2ヶ所と考える。(町長)
京浜急行に対する要望は。	5月29日に要望した。(町長)
その結果は。	検討するという事で、回答はまだ受けていない。(町長)
三浦半島中央道の上山口から長柄へのトンネル開通に合わせての要望か。	そのようになると良い。(町長)
コミュニティバス試験運行については。	民間団体から葉山町づくり支援協会に、試験運行の申し入れがあったので推移を見守りたい。(町長)
事業としての町の対応は。	既存バス路線変更全力投球した後、考える。(町長)
かなざきひさの考え 今年度中に三浦半島中央道のトンネルが開通する予定なので、既存バス路線の変更がどのように行われるのか見守ろうと思いますが、小回りのきくコミュニティバスの必要性も訴えていきます。	

お知らせ 日常生活の足として、交通弱者にやさしいコミュニティタクシーの試験運行が、民間により 10 月中旬、9 人乗りのタクシーを使って行われる予定です。

(3) 長柄・桜山古墳群の保存と活用について

昨年 12 月 19 日に国史跡に指定されました。発見した方の熱意と努力をたたえたいと思います。そしてこの保存と活用は今後の大きな課題です。15 年度長柄・桜山古墳群調査整備事業費は 378 万 7 千円です。

質問と提案	理事者側の答弁
まず、しなければならないことは。	指定地の公有化が必要である。(教育長)
その見通しと可能性は。	4 人の地権者との同意は得ているが、逗子市とのかねあいで 2~3 年かかる。(教育長)
保存の為にパトロールについて。	79 名がボランティアで参加し、5 班に分かれて交代でパトロールしている。(教育長)
保存と活用の為に組織づくりは。	専門家と住民を交えた整備委員会を立ち上げる。(教育長)
立ち上げの時期は。	出来れば来年度の立ち上げを希望している。(教育長)
かなざきひさの考え 国史跡になってからも従来どうりのパトロールがおこなわれているとのこと。大切な文化遺産であるので、もう少し予算をかけてでも、パトロールの強化をするべきであると要望しました。	

葉山町公共下水道事業報告 その 1

15・16 年度、かなざきひさは建設経済常任委員会の委員長として務めることとなりました。会報 22 号でお知らせいたしましたところ、葉山町の公共下水道のことを詳しく知りたい、というご要望が寄せられました。公共下水道事業は建設経済常任委員会の担当ですので、これから 2 年間、葉山町の公共下水道事業について、シリーズで掲載いたします。

○ 平成 11 年 3 月 29 日 葉山町公共下水道 共用開始 (かなざきひさが議席を頂く 1 ヶ月前です)
 接続件数 720 件 (そのうちイトーピア 603 件) 平成 11 年 6 月 11 日 現在

・イトーピア問題について

当時、イトーピアは団地内の汚水処理場で汚水を処理しており、それは町の管理下にありました。町は公共下水道共用開始とともにイトーピアの汚水処理場を閉鎖して公共下水道へとつなぎました。汚水処理施設の使用料は 1 世帯 1 ヶ月 1000 円+家族の人数×100 円でした。ところが公共下水道につながれたことにより、下水道使用料が高くなりました。

(参考) 公共下水道使用料 2761 円/1 ヶ月 (13 年度決算による平均値)
 一人一人が納得して自分の意思で公共下水道につないだ状況ではなく、イトーピア住民全員の汚水処理を、住民の理解を得られないまま、団地内の汚水処理場から公共下水道につながれた、という意識から使用料不払い運動が起きました。

(720 世帯の接続のうち公共下水道使用料を支払っていたのは 218 世帯)
 平成 15 年 6 月議会で、イトーピア住民の新人議員が一般質問で「私は下水道料金を払っておりません」と発言して問題となっております。

住民運動としての抗議の表明でしようが、議員という町税から歳費を頂いている立場の人が、条例違反をしていることを、堂々と発言したことが問われており、議会として、黙認することが出来ない事態となりました。

○ 平成 15 年 6 月 24 日現在 接続件数 2952 件 (接続可能件数 3980 件)

○ 平成 15 年度 公共下水道工事予定 3 ヶ所 費用合計 1 億 8627 万円 6 月議会で議員全員賛成

- ・役場入口交差点から新田なかまで
- ・あぶずり港入口から葉山マリーナ脇の海岸に降りる町道まで
- ・ボンジュール葉山店交差点から田中屋酒店前の交差点までの国道 134 号線

(接続可能件数 270 件増)



次回は財政について報告します。
 ご意見、ご要望などお聞かせ下さい。